

こども・若者意見募集結果

1. 実施内容

募集時期：令和5年9月29日～11月15日まで

募集対象者	募集テーマ
市内在住及び在学小学生・中学生・高校生 市内在住及び在学若者（18歳～29歳以下）	「こどもまんなか社会」を実現するため、流山市に住むこども・若者たちが、今を幸せに楽しく過ごすことができるようなアイデアやこども・若者、子育てに関する取組等の意見を募集する。なお、以下の（1）～（4）は必ず含めた提案内容で応募すること。 （1）提案テーマ（2）解決したい課題や要望（3）提案内容（4）得られるメリット

2. 意見募集結果

意見内訳

小学生 3件
中学生 238件
高校生 2件
合計 243件

大分類	小分類	件数
学校		127
	全般	10
	休み	30
	授業	22
	テスト	14
	給食	5
	行事	4
	校則・制服	8
	登下校	7
	部活	6
	いじめ・不登校	2
	その他	19
	経済的支援	
将来		5
相談		2

大分類	小分類	件数
まちづくり		45
	まちづくり	26
	交通	9
	温暖化対策	2
	災害	1
	自然	2
	バリアフリー	2
	防犯	3
		49
遊び場・居場所	遊び場	12
	居場所	3
	学校	8
	公園	26
その他		4
計		243

こども・若者意見募集結果

意見内容（一部抜粋）

学校に関する意見

	意見内容
全般	『 学校の交流を増やす 』 合唱練やスポーツイベントを行って、他校との交流を増やして欲しい。学校それぞれのアイデアを生かして、よりよい学校行事や学校生活につながると思う。(中学生)
	『 クラスメイトの仲を深めるために 』 年に2、3回私服を着ていく日をつくりたい。私服が分からないからいつもどういう服を着ているか分からなくて少し距離を感じている。友達がふだんどういう服を着ているのか、どういうものが好きなのかわかりやすくなる。(中学生)
休み について	『 子どもたちが2か月に1回休める 』 みんな少しでも具合が悪くなったらすぐにいつでも休めるようにする。いつでもメールなどに「休みます」を送れば理由を問わず休める。(中学生)
	『 秋休み 』 春、夏、冬休みがあるから、秋休みをつくってほしい。秋休みはなぜないのか。テストや学校行事で疲れるので、秋休みがあるとリラックスできる。旅行に行ったり、家でゆっくり過ごせる。(中学生)
授業 について	『 タブレット端末に5教科デジタル教科書を入れてほしい 』 1人1台タブレット端末があるデジタル環境を活かし富山県朝日町のように通学携行品の重さを軽減する取り組みを実施してほしい。部活動で増える荷物の重量や、タブレットの重さ、水筒の重さなどで増える疲労を軽減することで、家庭学習への集中力が増し、重量への精神的負担を取り除くことが出来る。通学が楽しくなる。(中学生)
	『 1週間に1回好きなことをする時間 』 金曜日の最後の時間に自由という時間を入れて、好きなことが出来る時間にすると⇒好きなものについて調べたり、見たり、自分の趣味を最大限に楽しむ⇒多様性⇒自立にもつながる=自分で考えて活動できる、生徒も先生も自由に休める。(中学生)
	『 学校の映像授業 』 休んだ日の授業の内容がわからない。パソコンで録画し、その後1週間は配信する。授業の内容がわからなくて全くできないみたいなのがなくなる。(中学生)
テスト について	『 テスト後の一週間に学校を休校にする 』 テストが終わって次の日にすぐ学校というのだと疲れて授業に集中できないので、テストが終わって1週間は「がんばったねー」という感じで休みがほしい。生徒…テストが終わって心を休めて気持ちを切り替えることができる。教師…休校の間に自宅で採点ができる、ふだん忙しい教師も自宅でゆっくりできる。(中学生)
給食 について	『 バイキング給食 』 給食時、好き嫌いやアレルギーなどで食べられない人が多く、残飯が残って食品ロスに繋がってしまっている。女子がおかわりしづらい空気がある。実際にバイキング給食を実施している地域はたくさんある。学年で一カ所、ランチルームを作って、バイキングの場所にして好きな量だけ、好きなものをとれる。主食、主菜、副菜、汁物(デザート)を用意する。バランスが悪くならないように、絶対取らないといけないものは決める。自分が食べられる量を取り、取ったものは残さないようにします。(中学生)
	『 効率の良い休養 』 給食の時間が長くて、給食を早く食べ終わるとひまになってしまう。昼休みの時間が短くて休憩できない。給食の時間で給食を食べきれない子がいて食品ロスにつながっている。給食の時間と昼休みの時間を合体する。ごちそうさまの後も給食を食べてよい。(中学生)

こども・若者意見募集結果

意見内容（一部抜粋）

学校に関する意見

	意見内容
学校行事について	『 他学年との交流を増やす 』 他学年との交流が少ない。レクなどのミニ行事で交流を増やす。鬼ごっこやリレー、ドッジボール等。他学年との交流が深まる。普通に楽しい。元気になる。（中学生）
校則・制服について	『 中学校での体操服・ジャージ着用の義務の変更 』 中学校時代、登校は制服でしなければならないのに、学校についたらジャージ・体操服で生活しなくてはならないのは手間だとおもっていました。運動部ならまだしも文化部の場合ジャージの意味をあまりなさないし、制服がある意味がわかりません。そこで、学校にいる間ジャージでなくてはいけないという決まりを変えたらどうかを思い提案しました。学校に着いてからジャージ・体操服で過ごすなくてはいけないというのは個人の自由にする。学校にいる間にジャージ着用でなくすることによって、余計な荷物が減り負担を軽減することが出来る。（高校生）
	『 制服の廃止（中学校） 』 家庭への金銭面での負担が大きい。それでいて、1年の中で使う機会が少ない。終業式など⇒私服orジャージ普段の生活⇒ジャージ。家庭への金銭面での負担が少なくなる。（中学生）
登下校について	『 学校への道をふやす 』 学校への行く道が1つしかなく、道が狭い。今は1本しか道がないから、逆側にも道をつくって解決しようという提案です。（中学生）
	『 スクールバスがほしい 』 夏や雨の時に、家が遠い人と登下校が大変だから、スクールバスで登下校を楽しみたい。朝と帰るときに、決まった時間にバスがくる。家の近くにとまって、まわってみんな乗れるようにする。雨の日も安全に登校できる。家が遠い人が登校するのが楽になる。（中学生）
部活について	『 特訓・部活 』 部活に入っている中学生が曜日ごとにコーチから専門の人に教えてもらうという場所をもうける。部活にはいない人も楽しめる。部活に入っている流山市の中学生が2校ずつ週に1回コーチに教えてもらうというもの。部活に入っていない人のしゅみをアンケートする。⇒部活にはいない人も入ってる人も楽しめる。部活に入っていて大会にでたい部活がうまくなりたいという人が自分の都合に合わせて練習できるメリット。（中学生）
	『 部活の時間を増やすために 』 冬は下校時間が早くて部活を行う時間が少ない。冬は掃除を2日に1回にして、部活を行う時間を増やす。下校時間を過ぎて、事前に申請しておけばコンクール、大会、発表会前などは学校に残ることができるようにする。部活をする時間が増えて、発表会の完成度が上がる。（中学生）
その他	『 忘れ物対策 』 忘れ物した時に、各クラス教科書や筆記用具を置いておく。全ての教科書の教科書を三冊おいておく。筆記用具は鉛筆かシャーペン、消しゴムをそれぞれ3つおいておく。教科書を忘れてしまったことによって、周りの人の教科書を見せてもらうことになるので、忘れ物用のものを借りることで迷惑にならない。（中学生）
	『 学校に掃除機導入 』 最近はほうきやちりとりではなく、掃除機で大人は掃除機を使っているのに、ほうきやちりとりは小学校。中学校からの掃除は大人になったとき、掃除機の使い方が分からなかったら、アレなので、中学校から掃除機を導入すればよいと思う。掃除機を掃除場に1台設置。学校は金がないので、安くて使いやすい掃除機を使えばよいと思う。まず、掃除のモチベーションが上がると思います。モチベがなければ、いずれ掃除をいやになって、全く掃除ができない大人になってしまうし、これを導入すれば、大人になって掃除機の使い方も分かると思うので良いと思う。（中学生）

こども・若者意見募集結果

経済的支援に関する意見

意見内容

『学割の活性化』 S・Cしか遊ぶ場所がない中で金欠になったら友達とのかかわりが減ってしまう。塾料が高い。学生証を見せることで、サイドメニュー1品無料・カラオケ割引・義務教育機関の塾料金を半額など行うとよいと思う。こどもがアクティブに!人とのかかわりが増える。学力が増す。経済が活性化。(中学生)

『子供は税無し+(-10%)にしよう!!』 お金がない。大体の子どもはお金がないと思うから、税無しにと、-10%にしよう!①子供カードなるものを発行する。②商品の購入時に子供カードを見せ、減税と-10%にしてもらう。みんなが喜び、父母は大発狂する。それにより文明が発展し、子供だとみんな安く買えちゃうから、転売バイヤーが消える。(中学生)

将来に関する意見

意見内容

『流山未来計画』 大人の仕事の種類が知れる機会がほしいです。地域の企業にお願いをすることです。~話してほしいこと~仕事の内容・行っている取り組み・その仕事に向いている人・会社の場所・その仕事のやりがい。この取り組みをすることにより、小学生や中学生の将来の仕事の選たくしが広がるきっかけになると思います。(小学生)

『未来の自分のために』 私は学校の外でも自律できるものを提案します。学校の外での自律は、この先1人で暮らしたりすると思うんです。それを前もって練習する取り組みをやってほしいと思います。人数:2~4人(男女でも、男だけ女だけでもOK)期間:1週間(5万円寄付)やるための金:2万円~家事・料理などは自分たちで。メリット・日々の親のつらさが分かる。お金の使い方が分かる。将来のための練習にもなる。デメリット・やるためのお金がかかる。ゴミ屋敷になっている可能性がある。喧嘩があるかもしれない。けがをすることがあるかもしれない。使う家を作る借りないといけない。*地域がどのように変化するか。自律ができていく人が多くなる。物の大切さが分かる人が増える。時間を見る人が増える。(中学生)

相談に関する意見

意見内容

『カウンセラーの人数を増やす』 カウンセラーの合う合わないがあるので増やして欲しい(年齢の近さなど)。悩みをうちあけられやすくなる。(中学生)

『子どもや若者が、何らかの家庭での事情でもし逃げたいと思ったら、すぐにかきこみできて相談できる場所が必要だと思います』
たとえば、ぎゃくたいや暴力、暴言などつらいことがあったときに、「誰かに相談したい」という気持ちの子が一人でもいたら、いつ、どこでもすぐ近くに逃げられるようなところがあり、知り合いなどにいたら助けられるよう取り組みが必要かと思っています。つらい人がいる⇒相談したけどそんな専門てきな場所がない⇒そこでいつでもすぐどんなことでも逃げられる場所をつくる⇒悩みが少しでも減らすことができるもし、周りの大人が信用できないのなら、どんなことでも相談できる。子どもたちのストレスが少なくなり、誰でも楽しく過ごせる家族との関係が少しでも良くなって行けるようサポートできる。(中学生)

こども・若者意見募集結果

まちづくりに関する意見

	意見内容
まちづくりについて	<p>『市内に若者向けのお店を増やす』 S・Cには映画館やゲームセンターなどがあるが、そのような魅力的なお店を若者向けに増やしたら盛り上がるのではないかと。⇒有名な雑貨屋や服屋などで「流山に来たい」と思わせる取り組み。今あるお店のよいところ、こんなお店が欲しいなどの要望アンケートを積極的に取り入れる。(グルメや雑貨などで、世代別にどのようなお店が必要なのかを知る機会) 今よりも満足度の高い買い物ができるようになると思うし、購買意欲が高まり、経済効果の上昇にもつながる⇒地域の活性化(中学生)</p> <p>『駐輪場の増加・無料化』 駐輪場がない。無料のところばかりいっぱい、有料のところがいっぱい空いている。駅に行くために毎回少しの利用でもお金がかかる。すべての駐輪場を2~3時間くらいは無料にしてほしい。駐輪場をもっと増やしてほしい。駅を利用しやすくなる。1か所に集中しなくなる。移動時間の短縮。(中学生)</p> <p>『みんなの居場所や心のより所や少しの夢を支えるためのアートの敷居を下げたい』 流山市をもっとカラフルで感情豊かに、アートで少しでも希望や夢のあふれる市にするために、「手続き簡単に芸術作品を展示できる場所」や「ラクガキし放題のコンクリート壁」「無人美術館」を作りたい。市に植えられている植物くらいに、アートを日常的にしたい。市内のスーパーや、学校、図書館、ショッピングモールなどに絵を展示できるコーナーやラクガキし放題の壁などを市の人々が集まるような場所にたててほしい。小さい無人販売店くらいの大きさの無人美術館をつくって、期間を決めて、その期間がおわったら、市で処分か保管して、また新しく、作品募集を繰り返す。名前も住所も書かないで、自由に老若男女アートを楽しめるようにしたい。市がカラフルになって、アートの敷居が低くなり、自由があふれる新たな可能性で、市や市民が発展できる。見る側も作る側も楽しくなる。(中学生)</p>
交通について	<p>『流山市の交通について』 ①ショッピングセンター周辺の問題・マクドナルドおたかの森店前の交差点が、おたかの森S.C.の駐車場の入口と重なっていて、渋滞が発生している・COTOEの駐車場が一方通行のうえ、とても狭い②登下校時の問題・おおぐろの森中学校とおおぐろの森小学校が隣接している、また、小山小学校、おおぐろの森小学校と中学校の登下校時間がかぶっているため、自転車と歩行者の接触が目立ってしまう。→そのため、歩行者と自転車の通る道をはっきりと区分してほしい③道の問題・関商店にわたる直前の市野谷の森から生えている、ツタや雑草が邪魔で道が本来の半分以下になっている。・道が狭いため、接触事故④交差点の問題・関商店のところの交差点の信号を分離式にしてほしい。小学生と中学生が通っていて、右折、左折したい車が曲がれないため、車が通れるようにしてほしい。この提案を行うことで、交通面で流山市民が安心安全に移動することができるようになると思う。特に、②、③、④についてはこの町でも割合の高い、児童と生徒(子供たち)にとって、より良いものになると考える。②、③、④が行われれば、児童と生徒の保護者も安心でき、社会全体の公共の福祉となるだろう。①についても、周辺を整備することで、ショッピングセンターを利用する人が増加するかもしれない。以上のことにより、私たちはこれを主張します。流山市の交通面での安心安全について、検討していただけるとありがたいです。よろしくお願ひします。(中学生)</p>
災害について	<p>『流山市の災害対策』 流山市は河川の氾濫による浸水被害が起きる可能性がある。特に南流山地域は土地が低いため浸水の危険性が高いそのため、排水対策としてマンホールや調整池の増設、河川の拡張、掘削や、市民の防災意識を高める必要がある。川が氾濫しにくくなる大雨が降っても素早く放出できる避難等がスムーズに行える。(中学生)</p>

こども・若者意見募集結果

まちづくりに関する意見

	意見内容
自然について	『カワセミを増やしたい』 昔はカワセミがたくさんいたのに、今はみかけなくなった。見かけなくなったのはカワセミの住む環境やえさが減ったからだと思う。餌となる魚を増やすために、川の環境を整えたり小魚のえさを増やしたり川の周りを調べたりする。カワセミが増えるのは川の環境が良いことだから、川魚が増えたり、絶滅危惧種を増やすことができる。(中学生)
バリアフリーについて	『駅周辺に音響信号機を』 駅周辺に音響信号機を取り入れる。目の見えない人でも信号を安心して渡ることができる。流山市は人口が多いため、障害を持つ人が何人かいると思います。そのため、少しでも生活が楽になるようにするため、バリアフリーを多く取り入れるべきだと思います。(中学生)
防犯について	『夜でも明るい安心できる町』 1本道やライトがない道は、不審者におそわれやすい。特に学校の帰りや暗い時間。みんなが安心して道が通れるように、道を整備する。ライトをつける。看板を置く。ゴミや落ち葉掃除をする。看板に「ポイ捨て×」「流山をきれいにしよう」などを書く。明るくなる、行きやすい⇒人が通る⇒犯罪が減る。流山がきれいになる⇒みんながいい気持ちで過ごせる。(中学生)

居場所・遊び場に関する意見

	意見内容
遊び場について	『子供が室内で遊べるしせつ』 友達と遊びたくても家で遊べなかったり、雨がふっていて遊べなかったりします。家の近くにはあまり室内で遊べるしせつがなくあまり遊べていませんでした。なので室内で楽しく、ひろびろと遊べるしせつが流山市にもほしいと思いました。・いつでも行ける・会員制ではなく、前日か、当日に予約をとると遊べる・会員制にしてしまうと遊べない人が増えてしまうから・個別の部屋などがあって数人だけであそべる部屋がある。雨がふって遊べない、家で遊べないなどのことがあっても友達と遊べて、ふだん遊ばない子とかでも遊ぶ場所が増えれば遊ぶ時間が増えて友達と仲がよくなれたり、毎日が楽しく感じるがあります。(小学生)
	『学校の近くに児童館などの施設をつくる』 遊べる場所が少ないため、安全に遊べて楽しい施設をつくってほしい。学校の近くに児童館などの施設をつくり、学校の休み時間や放課後、土日に遊べるようにする。親の電話番号を書いた会員証のようなものをつくり、何かあった時は親に連絡が届くようにする。大人が誰かしらいるようにする。ゲームやカードゲームなども用意するゲームなど数に限りがあるものは予約制度にする入室、退室などの記録もできるようにする。子どもたちの仲が深まる親が安心して子どもを遊ばせることができる今まで遊んだことのない人とも親しくなれる雨の日なども遊べるし、休み時間などで遊べる場所が増えるため、遊びに行く子どもが増えると思う。(中学生)
学校について	『学校の体育館を放課後自由に使わせてほしい』 私はバスケの大会で良い成績をとりたいので、放課後も練習してうまくなりたいです。だけど、練習できるところが外にしかありません。外だとドリブルはしにくいし、ボールに砂がついて手がよごれたりします。また、雨がふった次の日などは地面がぐちよぐちよで練習ができません。体育館を自由に使わせてくれることによってバスケがもっと上手になると思います。学校の体育館を放課後、自由に使える制度・部活などがある日は体育館を使わない・何時まで使っていいかは先生たちで決める・体育館を使う人が多かった場合は、学年ごとに使える曜日を決めて使う。(中学生)

こども・若者意見募集結果

居場所・遊び場に関する意見

	意見内容
居場所について	『親と距離を置ける場所、一人になれる場所がほしい』「毒親」とか親からの制限で苦しめられている人が親と距離を置けるようにしたい。24時間いつでも出入りOKな空間(部屋)の設置。食べ物や飲み物、スマホやゲームを持ってきてOK。寝泊りだけNG。家にいて親が仕事から帰ってきたりするとずっと同じ空間にいなきゃいけなくてずっとぐちぐち言われるので、とにかく親と距離のおける一時的なシェアハウスのようなものがあってほしい。部屋は仕切りがあるとより落ち着ける。本とか漫画が置いてあってもいいかもしれない。他にこのシェアハウスのようなものを利用している人に話を聞いてもらうことができる。同じ境遇の人がいれば心も楽になると思う。制限がきつすぎてここに行くことすら許されない人もいるかもしれないけど、こういう施設があることで少しでも親と距離を置いて心が楽になる人が増えたらいいな・・・と思います。(中学生)
公園について	『公園でのルール』 ボール遊びができないのは子どもがかわいそう。最近はボール遊びができない公園が多い。広い公園をつくって、ボール遊びが出来たり遊具があったり、場所を区切って使ってもらえればいいと思う。みんなが楽しくできて、自分のいいところを発見できるようになると思う。(中学生)
	『公園を増やしてバスケットコートをつくる』 秋田県は公園によくバスケットコートとボールがあるのに、他の県はないからつくってほしいです。車の高架下とかにバスケットコートを置くと壁にゴールを設置するだけでいいから、工事する人もちょっとは楽。あと、流山市の高架下空いているから、そういう所に入れていきたい。みんな遊べる場所がある。コートをつくってくると、コミュニティプラザでお金を払ってやらなくても無料でできる。(中学生)
	『公園の遊具をもっと増やす』 公園の遊具をもっとふやしてほしい。遊具が少ない公園があるから、ふやしてほしい。みんな公園じゃなくて、家にいることが多いし、遊具がある公園にいくと遠くなるから。ボール遊びや鬼ごっこなどの場所は遊具は少なめにして、別の場所でいろいろな遊具をつけてほしい。家ばっかじゃなくて公園とかで遊ぶ人が増えると思うし、木がたくさんあるところに遊具をつけたら虫とか自然とかにもふれあえると思う。あと、家の周りとかがにぎやかになるからいいと思う。(中学生)

その他の意見

意見内容
『子どもやみんなの命について』 ・子どもの虐待をなくしたい・世界平等にしたい・子どもを大切にしてもらいたい・平等について解説する・子どもを保護する(虐待から逃れるため)虐待する人が少し減り、世界が少し平等になると思います。(中学生)
『家族との時間』 家族との楽しむ時間が欲しい。家族との買い物などもあるが、もっと楽しめることをしたい。駅などでの行事を多くしたほうがいいと思う。今もときどきやっていることがあるけれど、もっと多くした方が駅に来る人も多くなるし、にぎやかになると思う。期間限定の行事など。知らない人とも知り合いに。(中学生)

3. 意見募集結果の施策等への反映、こども・若者へのフィードバック方法の考え方

- こども・若者意見募集から提案のあった意見について、庁内関係部署に内容を共有し、（仮称）流山市こども計画の策定過程等において、事業・施策に反映できるかなどの検討及び見直しを行うように促します。
- 検討した結果、可能なものは、計画や施策に反映し、予算計上、または各種計画の文書等に記載して公開することで、こども・若者へのフィードバックとします。
- なお、市政以外に関係する意見については、こども・若者に関する外部組織・機関や専門的知識、経験を有する有識者等と必要に応じ内容を共有し、連携できるところがないかなどを検討していきます。